

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2039年6月24日まで（2021年4月6日設定）	
運用方針	外国投資法人であるベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドの円建ての投資信託証券（クラスC・JPY・アキュムレーション）への投資を通じて、主として日本を含む世界各国（新興国を含みます。）の株式等（DR（預託証券）を含みます。）に投資を行います。なお、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。外国投資法人の投資信託証券への投資は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベイリー・ギフォード・インパクト投資ファンド（予想分配金提示型）	ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド・クラスC・JPY・アキュムレーションおよびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。
	ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド・クラスC・JPY・アキュムレーション	日本を含む世界各国の株式等を主要投資対象とします。
	マネー・マーケット・マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。外貨建資産への投資は行いません。
主な組入制限	投資信託証券への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。原則として、決算日の前営業日の基準価額に応じ、予想提示された金額の分配をめざします。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。また、決算日にかけて基準価額が急激に変動し、予想提示された分配金額が分配対象額を超える場合等には、当該分配金額としないことや分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド （予想分配金提示型）

愛称：ポジティブ・チェンジ



第28期（決算日：2023年7月25日）

第29期（決算日：2023年8月25日）

第30期（決算日：2023年9月25日）

第31期（決算日：2023年10月25日）

第32期（決算日：2023年11月27日）

第33期（決算日：2023年12月25日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド（予想分配金提示型）」は、去る12月25日に第33期の決算を行いましたので、法令に基づいて第28期～第33期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル

0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

※当ファンドは「サステナブル・ファンド」です。

サステナブル・ファンドとは、ファンドの投資判断プロセスにおいてESG要素を主要とし、環境や社会の課題解決・改善に寄与する企業等への投資を行い、お客さまの資産形成および持続可能な社会の実現に貢献するファンドとして、三菱UFJアセットマネジメントが定めたファンドをいいます。サステナブル・ファンドへの認定および除外は今後見直す場合があります。

詳細については、委託会社のホームページ (<https://www.am.mufg.jp/corp/sustainability/sustainability.html>) でご覧いただけます。

ESGとは、環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) の頭文字を取ったものです。

ファンドマネージャーのコメント

■運用のポイント

ベイリー・ギフォードでは1世紀以上にわたって長期的視点での投資を行っており、その中で何度も世界的な危機局面を経験しています。この中で、危機時においても長期的視点を持ち、反射的な投資行動は避けるべきであるということを学んでおり、これは当ファンドにおいても生かされています。

当ファンドでは長期的には株価はファンダメンタルズに従うと考えており、長期的な業績拡大が期待でき、社会に好ましいインパクトをもたらすことが期待できる銘柄については保有を継続しています。

また、インパクト分析の強化や継続的な投資先企業との対話を通じて、持続可能な社会の実現に向けたポジティブな影響を与えることを引き続き目指しています。

■ポートフォリオ概況

主な新規組入銘柄

「WUXI BIOLOGICS CAYMAN INC」は、バイオ医薬品などの製造工程の開発から、治験薬や商業生産を受託する医薬品開発製造受託機関 (CDMO) です。他のCDMOと異なり、プロジェクトの初期段階より関与することが出来るのが同社の強みです。また、小規模なバイオテクノロジー企業などからのアウトソーシング需要の拡大

を背景に、CDMOは高い成長が見込まれることから、新規に組み入れました。

主な全売却銘柄

「FDM GROUP HOLDINGS PLC」は人材関連ビジネスを手掛けております。同社は情報技術などの専門性に特化した人材に教育を行い、オンサイトやリモートでサービスを提供しておりますが、見込み顧客が同社のユニークなサービスを評価するのに時間を要し、当初想定していたよりも成長に時間が必要であることなどを考慮し、全売却しました。

■ポジティブ・チェンジ戦略が創出したインパクト (2022年12月末時点)

◎ASML HOLDING NV (平等な社会・教育の実現)

同社の製造する露光装置 (リソグラフィー) は半導体製造において重要なプロセスを担います。同社のリソグラフィーはより短い波長の光を使用することで、より細かい半導体設計を可能とし、トランジスタのサイズを小さくすることを可能にしています。同社の製品は、エネルギー効率の良い半導体製造や、より小型で高性能な電子機器の製造に役立っており、誰もが情報やサービス等にアクセスできるような社会基盤の構築に貢献することを期待しています。

同社は2022年に345のリソグラフィシステムを販売しており、この内40が極端紫外線（EUV）リソグラフィシステムです。EUVは、従来より短い波長の光を使用する技術で、同社は世界で唯一のEUVメーカーです。

◎TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC (平等な社会・教育の実現)

同社は継続的な投資で半導体の高性能化と低コスト化を実現しています。これはインターネットへのアクセスの低価格化の他、エネルギー効率の向上や、医療の進歩への貢献といったインパクトをもたらしており、誰もが情報やサービス等にアクセスできるような社会基盤の構築に貢献することを期待しています。

同社は2022年に、12インチウエハー換算で1,530万枚を出荷しています。

■エンゲージメント（2022年12月末時点）

◎MERCADOLIBRE INC（平等な社会・教育の実現）

同社の戦略担当バイスプレジデントと会談し、運用チームは、物流及びフルフィルメントへの投資と戦略について議論しました。こうした投資と戦略は、同社の競争優位性を強化するのみならず、低所得層の顧客にサービスを提供し、低価格商品の取り扱いを拡大しつつ収益性を向上させることを可能にします。幸いなことに、同社は今後、多額の設備投資が必要になるとは考えていません。これは同社の物流戦略がソフトウェアとデータに重点を置いているためで、同社では1,500人の開発者が物流の最適化の実現に取り組んでいます。私たちはフィンテック事業についても議論しました。同社の不良債権は多額に見えるものの、実際には基調的な引受状況が急速に改善していることを理解しました。最後に、今回の会談は、同社が慢心を回避し、破壊的変革の可能性を引き続き探求するために、取締役会と組織の両方の観点から

実施している取り組みについて聞く機会となりました。

◎MODERNA INC（医療・生活の質向上）

同社の最高経営責任者（CEO）と運用チームはメッセンジャーRNA（mRNA）の将来性、同社による取り組みの優先順位付け、同社の競争優位性について詳しく議論しました。CEOは、多様な呼吸器系疾患のワクチン、具体的には、インフルエンザ、新型コロナウイルス、肺と気道に感染する呼吸器合胞体（RS）ウイルスを予防する混合ワクチンを提供するという野心的な目標について詳細に説明しました。mRNAは医療システムを変革する巨大な可能性を秘めており、その好例がワクチンです。インフルエンザ等のウイルスを予防するために、ワクチンを特定地域の特定株向けに設計できるようになれば、勤による作業を減らすことができます。同社は、リソース配分の優先順位付けにおいて、問題の規模と疾患の複雑性を考慮する体系的なアプローチを採用しています。野心的目標はこれだけに留まらず、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）やサイトメガロウイルス（CMV）等の潜伏性のウイルスに対するワクチンや、希少疾患の治療薬、個別化がんワクチンも開発中です。CEOは、重点分野、長期志向、リスクに対するポートフォリオアプローチ、デジタルネイティブという性質から、同社がmRNAの分野で他社より傑出していると考えています。



ベイリー・ギフォード&カンパニー
パートナー（共同経営者）インベストメントマネージャー
ケイト・フォックス

上記は、ベイリー・ギフォード社の情報を基に、三菱UFJアセットマネジメントが作成したものです。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数)		債券 組入比率	債券 先物比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配)	税金 分配	み 金 騰 落	中 率	MSCI オールカントリー・ワールドインデックス (配当込み、 円ベース)				
	円	円	%	%	%	%	%	%	百万円
4期(2021年7月26日)	10,866	100	4.8	15,644	1.0	—	—	98.9	18,161
5期(2021年8月25日)	11,229	200	5.2	15,702	0.4	—	—	97.7	21,673
6期(2021年9月27日)	11,165	200	1.2	15,775	0.5	—	—	99.2	27,362
7期(2021年10月25日)	10,980	100	△ 0.8	16,467	4.4	—	—	98.9	33,437
8期(2021年11月25日)	10,261	100	△ 5.6	16,912	2.7	—	—	98.9	38,038
9期(2021年12月27日)	9,960	0	△ 2.9	16,762	△0.9	—	—	97.6	41,622
10期(2022年1月25日)	8,457	0	△15.1	15,779	△5.9	—	—	97.2	35,636
11期(2022年2月25日)	7,540	0	△10.8	15,456	△2.0	—	—	98.2	32,159
12期(2022年3月25日)	9,030	0	19.8	16,988	9.9	—	—	98.5	38,562
13期(2022年4月25日)	9,008	0	△ 0.2	16,973	△0.1	—	—	97.4	38,103
14期(2022年5月25日)	7,514	0	△16.6	15,616	△8.0	—	—	98.6	31,352
15期(2022年6月27日)	7,643	0	1.7	16,363	4.8	—	—	98.9	31,434
16期(2022年7月25日)	8,272	0	8.2	16,621	1.6	—	—	98.6	33,694
17期(2022年8月25日)	8,263	0	△ 0.1	17,207	3.5	—	—	97.3	33,442
18期(2022年9月26日)	7,783	0	△ 5.8	16,146	△6.2	—	—	97.1	31,155
19期(2022年10月25日)	8,099	0	4.1	16,986	5.2	—	—	98.4	31,914
20期(2022年11月25日)	8,772	0	8.3	17,234	1.5	—	—	98.8	33,545
21期(2022年12月26日)	8,155	0	△ 7.0	16,029	△7.0	—	—	98.4	30,509
22期(2023年1月25日)	8,537	0	4.7	16,674	4.0	—	—	98.7	31,694
23期(2023年2月27日)	8,621	0	1.0	17,094	2.5	—	—	98.6	31,318
24期(2023年3月27日)	8,268	0	△ 4.1	16,326	△4.5	—	—	98.6	29,400
25期(2023年4月25日)	8,831	0	6.8	17,590	7.7	—	—	98.3	31,038
26期(2023年5月25日)	9,171	0	3.9	18,004	2.4	—	—	98.1	31,327
27期(2023年6月26日)	9,783	0	6.7	19,368	7.6	—	—	97.6	31,983
28期(2023年7月25日)	9,879	0	1.0	19,877	2.6	—	—	97.7	31,469
29期(2023年8月25日)	9,411	0	△ 4.7	19,677	△1.0	—	—	97.6	29,526
30期(2023年9月25日)	9,026	0	△ 4.1	19,834	0.8	—	—	97.4	27,743
31期(2023年10月25日)	8,624	0	△ 4.5	19,514	△1.6	—	—	98.8	26,023
32期(2023年11月27日)	9,540	0	10.6	20,953	7.4	—	—	98.6	28,263
33期(2023年12月25日)	9,686	0	1.5	20,810	△0.7	—	—	97.6	27,566

- (注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。
- (注) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。
- (注) MSCI オールカントリー・ワールド インデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の先進国・新興国の株式で構成されています。同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。
- (注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。
- (注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
- (注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		（ 参 考 指 数 ） MSCI オールカンントリー・ワールドインデックス （配当込み、円ベース）		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率			
第28期	(期首) 2023年6月26日	円 9,783	% —	% 19,368	% —	% —	% —	% 97.6
	6月末	9,836	0.5	19,672	1.6	—	—	98.5
	(期末) 2023年7月25日	9,879	1.0	19,877	2.6	—	—	97.7
第29期	(期首) 2023年7月25日	9,879	—	19,877	—	—	—	97.7
	7月末	9,657	△ 2.2	19,942	0.3	—	—	98.5
	(期末) 2023年8月25日	9,411	△ 4.7	19,677	△1.0	—	—	97.6
第30期	(期首) 2023年8月25日	9,411	—	19,677	—	—	—	97.6
	8月末	9,543	1.4	20,242	2.9	—	—	98.3
	(期末) 2023年9月25日	9,026	△ 4.1	19,834	0.8	—	—	97.4
第31期	(期首) 2023年9月25日	9,026	—	19,834	—	—	—	97.4
	9月末	8,951	△ 0.8	19,829	△0.0	—	—	98.5
	(期末) 2023年10月25日	8,624	△ 4.5	19,514	△1.6	—	—	98.8
第32期	(期首) 2023年10月25日	8,624	—	19,514	—	—	—	98.8
	10月末	8,553	△ 0.8	19,132	△2.0	—	—	98.5
	(期末) 2023年11月27日	9,540	10.6	20,953	7.4	—	—	98.6
第33期	(期首) 2023年11月27日	9,540	—	20,953	—	—	—	98.6
	11月末	9,518	△ 0.2	20,658	△1.4	—	—	98.5
	(期末) 2023年12月25日	9,686	1.5	20,810	△0.7	—	—	97.6

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み合わせますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第28期～第33期：2023年6月27日～2023年12月25日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第28期首	9,783円
第33期末	9,686円
既払分配金	0円
騰落率	-1.0%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ1.0%の下落となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

「MERCADOLIBRE INC」は、中南米で電子商取引事業などを展開しています。中南米ではeコマースの普及率が未だに低いため、今後数年に亘って高成長が見込まれます。また、同社はフィンテックを活用して、様々なオンライン及びモバイル決済ソリューションと金融サービスを提供しております。これらを通じて、中小企業や消費者は以前よりも簡単に無理なく金融サービスを処理・利用することが可能になり、経済成長及び事業者の収益拡大に寄与していると考えていることから保有しています。メキシコなどでの事業の成長が牽引し、市場予想を上回る決算を発表したことなどを背景に、同社の株価が上昇したことがプラスに寄与しました。

下落要因

「ORSTED A/S」は、再生可能エネルギーの開発企業で、洋上風力エネルギーの世界的リーダーであるとみています。再生可能エネルギーインフラの継続的な構築は気候変動に対処する上で重要であり、同社は重要な役割を果たすことができると考えています。同社の評判と専門技術、大規模プロジェクトの管理能力、様々なステークホルダーとの連携により、適切な投資収益率（RO I）を達成できると考えていることから保有しています。計画の遅れに加え、インフレや金利上昇で事業費がかさんだことなどから米国の一部事業から撤退し、減損を発表したことなどを背景に、同社の株価が下落したことがマイナスに作用しました。

第28期～第33期：2023年6月27日～2023年12月25日

投資環境について

▶ 株式市況

グローバル株式市況は上昇しました。

期間の初めから2023年10月にかけては、米消費者物価指数（CPI）の上昇率が鈍化したことなどを背景に米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げ観測が後退したことや、一部企業が良好な決算を発表したことなどから上昇する局面もありました。しかしその後、大手格付け会社による米国債や一部米金融機関の格下げに対する懸念や9月の米連邦公開市場委員会（FOMC）で政策金利見通しが引き上げられ、高い金利水準を長期間維持するとの見方が強まったことなどを背景に米長期金利が上昇したことなどから下落しました。11月以降は、主要中銀による政策金利の据え置きが発表されたことや、米国のインフレ率鈍化などを背

景に金利が低下したことなどから上昇し、期間を通じてみると上昇となりました。

▶ 為替市況

期間の初めに比べ、米ドルは対円で下落したものの、ユーロは対円で上昇しました。

▶ 国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。

当期間の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.011%となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド（予想分配金提示型）

外国投資法人であるベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドの円建ての投資信託証券

（クラスC・JPY・アキュムレーション）への投資を行いました。また、マネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。

▶ **ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドークラスC・JPY・アキュムレーション**

日本を含む世界各国（新興国を含みません。）の株式等（DR（預託証券）を含み

ます。）を主要投資対象とし、個別企業に対する独自の調査に基づき、好ましい社会的インパクトをもたらす事業によって、長期の視点から成長が期待される企業の株式等に厳選して投資を行いました。

■テーマ別組入比率 (現地2023年12月22日時点)

テーマ	比率(%)
平等な社会・教育の実現	40.9
医療・生活の質向上	25.5
環境・資源の保護	24.5
貧困層の課題解決	7.5

※比率はファンドの純資産総額に対する割合です。

※データはベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドの資料を基に、三菱UFJアセットマネジメントが作成したものです。

当期間の主な新規組入および全売却銘柄は以下の通りです。

主な新規組入銘柄

バイオ医薬品などの製造工程の開発から、治験薬や商業生産を受託する「WUXI BIOLOGICS CAYMAN INC」などを新規に組み入れました。

主な全売却銘柄

人材関連ビジネスを手掛ける「FDM GROUP HOLDINGS PLC」などを全売却しました。

インパクト・レポートおよびポジティブな対話は当社ホームページ (<https://>

www.am.mufg.jp/fund/254108.html) にて開示を行っています。

インパクト・レポートおよびポジティブな対話は当ファンドが投資する外国投資法人の運用に用いられるポジティブ・チェンジ戦略とインパクト・テーマおよびエンゲージメントについて紹介したものです。したがって、ご紹介している内容は当ファンドの投資対象ファンドの内容と異なる場合があります。

また、「ポジティブ・チェンジ戦略への投資が、社会に与えるインパクト」について、当社ホームページ (https://www.am.mufg.jp/lp/positive_change/indicator/index.html) にて紹介しております。

▶ **マネー・マーケット・マザーファンド**
コール・ローン等短期金融商品を活用し、
利子等収益の確保を図りました。

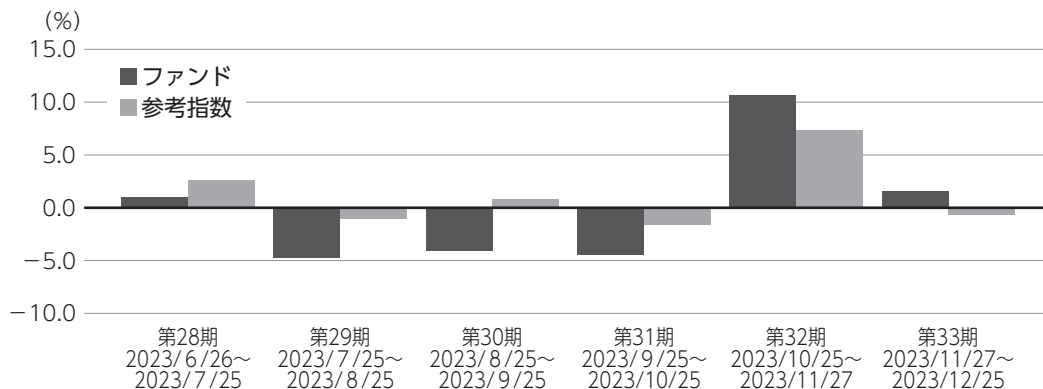
ポジティブ・チェンジ戦略のエンゲージメント活動

2022年は、35社の投資先企業との間で96回のエンゲージメントを行いました。これは、ベイリー・ギフォードが企業と頻繁に面談し、経営陣と強固な関係を築いていることを反映しています。

第28期～第33期：2023/6/27～2023/12/25

▶ **当該投資信託のベンチマークとの差異について**

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はMSCI オールカントリー・ワールド インデックス（配当込み、円ベース）です。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し決定します。原則として、決算日の前営業日の基準価額に応じ、予想提示された金額の分配をめざします。この結果、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第28期 2023年6月27日~ 2023年7月25日	第29期 2023年7月26日~ 2023年8月25日	第30期 2023年8月26日~ 2023年9月25日	第31期 2023年9月26日~ 2023年10月25日	第32期 2023年10月26日~ 2023年11月27日	第33期 2023年11月28日~ 2023年12月25日
当期分配金 （対基準価額比率）	— （—%）	— （—%）	— （—%）	— （—%）	— （—%）	— （—%）
当期の収益	—	—	—	—	—	—
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	897	897	897	897	897	897

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド（予想分配金提示型）

外国投資法人であるベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドの円建ての投資信託証券（クラスC・JPY・アキュムレーション）およびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資を行います。

▶ ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドークラスC・JPY・アキュムレーション

引き続き、主として日本を含む世界各国の株式等に投資を行います。

ポートフォリオの構築に際しては、個別企業に対する独自の調査に基づき、好ましい社会的インパクトをもたらす事業によって、長期の視点から成長が期待される企業の株式等に厳選して投資を行う方針です。

景気見通しや地政学リスク、各国の金融当局による金融政策の動向に対する懸念などから、短期的には不安定な相場展開となる可能性があるものの、短期的な株価の変動は長期的な成長が期待される企業へ割安な価格で投資する機会を生むと

考えています。

引き続き、「平等な社会・教育の実現」、「環境・資源の保護」、「医療・生活の質向上」、「貧困層の課題解決」の4つのインパクト・テーマの実現に貢献する事業によって、長期の視点から成長が期待される企業への投資を行う方針です。

また、銘柄の選定に際しては、社会的課題への取り組みや企業の競争力等について徹底的な調査・分析を行う「ファンダメンタルズ分析」と、専門チームが社会や環境への影響度を分析する「インパクト分析」の2つの分析を実施して、ポートフォリオを構築します。

なお、「貧困層の課題解決」のテーマでは更なる投資機会を探しています。具体的には、低所得国における起業の円滑化、アフリカのインフラの改善、インドにおける金融包摂の支援等を行う企業を継続的に調査しています。

▶ マネー・マーケット・マザーファンド

今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

2023年6月27日～2023年12月25日

1万口当たりの費用明細

項目	第28期～第33期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	68	0.727	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率×（作成期中の日数÷年間日数）
（投信会社）	(36)	(0.383)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(31)	(0.328)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.002	(b)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	68	0.729	

作成期中の平均基準価額は、9,395円です。

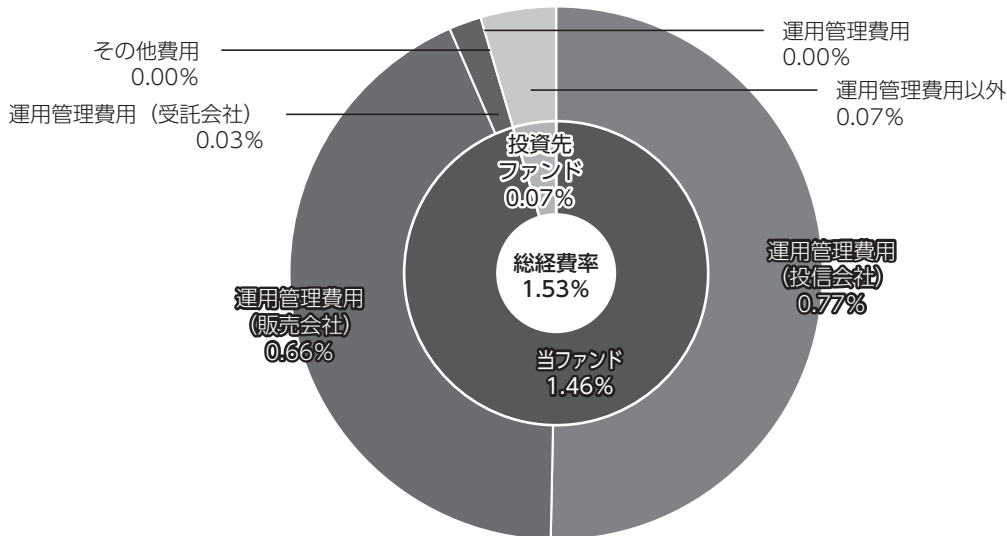
- (注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

- (注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
- (注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.53%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	1.53
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.46
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.00
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.07

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドの費用の内訳は、投資先運用会社の基準に基づいたものです。

(注) 入手し得る情報において含まれていない費用はありません。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年6月27日～2023年12月25日)

投資信託証券

銘柄		第28期～第33期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド-クラスC・JPY・アキュムレーション	千口 271	千円 691,110	千口 1,894	千円 4,807,020

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2023年6月27日～2023年12月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年12月25日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		第27期末	第33期末		
		口数	口数	評価額	比率
		千口	千口	千円	%
	ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド-クラスC・JPY・アキュムレーション	11,934	10,310	26,891,915	97.6
	合計	11,934	10,310	26,891,915	97.6

(注) 比率はベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド（予想分配金提示型）の純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘柄		第27期末	第33期末	
		口数	口数	評価額
		千口	千口	千円
	マネー・マーケット・マザーファンド	9	9	9

○投資信託財産の構成

(2023年12月25日現在)

項 目	第33期末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 26,891,915	% 97.4
マネー・マーケット・マザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	705,345	2.6
投資信託財産総額	27,597,269	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第28期末	第29期末	第30期末	第31期末	第32期末	第33期末
	2023年7月25日現在	2023年8月25日現在	2023年9月25日現在	2023年10月25日現在	2023年11月27日現在	2023年12月25日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	31,593,846,221	29,622,803,380	27,835,041,748	26,076,395,123	28,375,898,080	27,597,269,865
コール・ローン等	851,927,128	801,030,650	821,350,428	373,991,215	514,826,282	705,344,350
投資証券(評価額)	30,741,909,094	28,821,762,731	27,013,681,321	25,702,393,909	27,861,061,799	26,891,915,516
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	9,999	9,999	9,999	9,999	9,999	9,999
(B) 負債	124,444,920	96,437,959	91,817,535	53,018,403	112,238,322	31,073,496
未払解約金	87,811,226	58,715,434	55,233,650	20,246,567	76,558,636	—
未払信託報酬	36,549,169	37,635,950	36,500,433	32,697,861	35,599,107	31,003,371
未払利息	2,093	1,693	1,131	232	292	200
その他未払費用	82,432	84,882	82,321	73,743	80,287	69,925
(C) 純資産総額(A-B)	31,469,401,301	29,526,365,421	27,743,224,213	26,023,376,720	28,263,659,758	27,566,196,369
元本	31,855,890,826	31,375,520,082	30,735,608,542	30,177,044,571	29,626,366,931	28,461,270,992
次期繰越損益金	△ 386,489,525	△ 1,849,154,661	△ 2,992,384,329	△ 4,153,667,851	△ 1,362,707,173	△ 895,074,623
(D) 受益権総口数	31,855,890,826口	31,375,520,082口	30,735,608,542口	30,177,044,571口	29,626,366,931口	28,461,270,992口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,879円	9,411円	9,026円	8,624円	9,540円	9,686円

○損益の状況

項 目	第28期	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期
	2023年6月27日～ 2023年7月25日	2023年7月26日～ 2023年8月25日	2023年8月26日～ 2023年9月25日	2023年9月26日～ 2023年10月25日	2023年10月26日～ 2023年11月27日	2023年11月28日～ 2023年12月25日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 24,210	△ 34,519	△ 28,768	△ 12,423	△ 4,848	△ 3,953
受取利息	741	81	797	1,244	76	124
支払利息	△ 24,951	△ 34,600	△ 29,565	△ 13,667	△ 4,924	△ 4,077
(B) 有価証券売買損益	341,121,069	△1,425,646,279	△1,144,069,347	△1,182,773,890	2,750,513,067	444,956,915
売買益	352,137,429	15,772,961	4,713,919	4,169,892	2,772,743,688	456,116,428
売買損	△ 11,016,360	△1,441,419,240	△1,148,783,266	△1,186,943,782	△ 22,230,621	△ 11,159,513
(C) 信託報酬等	△ 36,631,601	△ 37,720,832	△ 36,582,754	△ 32,771,604	△ 35,679,394	△ 31,073,296
(D) 当期損益金(A+B+C)	304,465,258	△1,463,401,630	△1,180,680,869	△1,215,557,917	2,714,828,825	413,879,666
(E) 前期繰越損益金	△1,761,019,960	△1,426,950,155	△2,826,361,211	△3,931,365,894	△5,050,816,196	△2,242,515,943
(F) 追加信託差損益金	1,070,065,177	1,041,197,124	1,014,657,751	993,255,960	973,280,198	933,561,654
(配当等相当額)	(2,167,699,589)	(2,138,636,421)	(2,096,198,658)	(2,058,576,353)	(2,021,286,880)	(1,942,233,959)
(売買損益相当額)	(△1,097,634,412)	(△1,097,439,297)	(△1,081,540,907)	(△1,065,320,393)	(△1,048,006,682)	(△1,008,672,305)
(G) 計(D+E+F)	△ 386,489,525	△1,849,154,661	△2,992,384,329	△4,153,667,851	△1,362,707,173	△ 895,074,623
(H) 収益分配金	0	0	0	0	0	0
次期繰越損益金(G+H)	△ 386,489,525	△1,849,154,661	△2,992,384,329	△4,153,667,851	△1,362,707,173	△ 895,074,623
追加信託差損益金	1,070,065,177	1,041,197,124	1,014,657,751	993,255,960	973,280,198	933,561,654
(配当等相当額)	(2,167,699,589)	(2,138,636,421)	(2,096,198,658)	(2,058,576,353)	(2,021,286,880)	(1,942,233,959)
(売買損益相当額)	(△1,097,634,412)	(△1,097,439,297)	(△1,081,540,907)	(△1,065,320,393)	(△1,048,006,682)	(△1,008,672,305)
分配準備積立金	691,068,130	677,022,138	662,033,294	649,530,268	637,401,702	611,896,922
繰越損益金	△2,147,622,832	△3,567,373,923	△4,669,075,374	△5,796,454,079	△2,973,389,073	△2,440,533,199

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ① 作成期首（前作成期末）元本額 32,692,126,334円
 作成期中追加設定元本額 432,023,583円
 作成期中一部解約元本額 4,662,878,925円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.9686円です。

② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は895,074,623円です。

③ 分配金の計算過程

項 目	2023年6月27日～ 2023年7月25日	2023年7月26日～ 2023年8月25日	2023年8月26日～ 2023年9月25日	2023年9月26日～ 2023年10月25日	2023年10月26日～ 2023年11月27日	2023年11月28日～ 2023年12月25日
費用控除後の配当等収益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	2,167,699,589円	2,138,636,421円	2,096,198,658円	2,058,576,353円	2,021,286,880円	1,942,233,959円
分配準備積立金額	691,068,130円	677,022,138円	662,033,294円	649,530,268円	637,401,702円	611,896,922円
当ファンドの分配対象収益額	2,858,767,719円	2,815,658,559円	2,758,231,952円	2,708,106,621円	2,658,688,582円	2,554,130,881円
1万口当たり収益分配対象額	897円	897円	897円	897円	897円	897円
1万口当たり分配金額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益分配金金額	－円	－円	－円	－円	－円	－円

*三菱UFJアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お 知 ら せ】

委託会社の商号変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。
2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更しました。
(2023年10月1日)

<参考>投資する投資信託証券およびその概要

ファンド名	ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドークラスC・JPY・アキュムレーション
運用方針	日本を含む世界各国（新興国を含みます。）の株式等（DR（預託証券）を含みます。）のうち、持続可能であらゆる人々を受容する世界の実現に向け、好ましい社会的インパクトをもたらす製品、サービスの提供や、かかる事業活動を公正かつ誠実に実施する企業の株式等への投資を行い、長期的な信託財産の成長をめざします。
主要運用対象	日本を含む世界各国の株式等
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同一の発行体が発行する株式等への投資比率は、原則として純資産総額の10%以内とします。 ・ 新興国の株式等への投資額は、合計して純資産総額の50%以内とします。 ・ ロシアの金融商品取引所に上場されている株式等へは投資を行いません。ただし、先進国の金融商品取引所に上場されているロシアの株式等は投資対象とします。
決算日	毎年9月30日
分配方針	原則として分配を行わない方針です。

運用計算書、純資産変動計算書、投資明細表はANNUAL REPORT AND AUDITED FINANCIAL STATEMENTS FOR THE YEAR ENDED 30 SEPTEMBER 2022版から抜粋して作成しています。

なお、開示情報につきましては、シェアクラス分けされたものがないため、ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドで掲載しています。

(1) 運用計算書

ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド

(2021年10月1日～2022年9月30日)

	米ドル
ベイリー・ギフォード・ ワールドワイド・ ポジティブ・チェンジ・ ファンド	
収益：	
投資収益	20,895,354
銀行受取利息	—
その他収益	25,413
損益を通じて公正価値で測定する金融資産及び金融負債に係る損益（純額）	(1,424,709,130)
投資（損）益合計	(1,403,788,363)
費用：	
運用受託報酬	(4,197,612)
事務処理手数料	(644,702)
監査報酬	(12,374)
法務及び専門家報酬	(83,652)
事務管理手数料	(659,554)
預託手数料	(974,236)
ディレクター報酬及び費用	(8,429)
その他費用	(72,943)
運用費用合計	(6,653,502)
費用清算	—
純費用	(6,653,502)
分配	—
金融費用	(3,254)
純損益	(1,410,445,119)
源泉徴収税	(4,564,439)
純資産の純増加（減少）額	(1,415,009,558)

(注) 現時点で入手し得る直近の決算期分を掲載しています。

(2) 純資産変動計算書

ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド

(2021年10月1日～2022年9月30日)

	ベイリー・ギフォード・ ワールドワイド・ ポジティブ・チェンジ・ ファンド
	米ドル
純資産期首	2,832,156,343
投資信託証券の純発行額	1,003,294,612
分配再投資	—
投資信託証券の純償還額	(510,515,345)
純増減額	492,779,267
純資産の純増加（減少）額	(1,415,009,558)
純資産期末	1,909,926,052

(注) 現時点で入手し得る直近の決算期分を掲載しています。

(3) 投資明細表 (STATEMENT OF INVESTMENTS)

 ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド
 (2022年9月30日現在)

銘柄	残高	時価 (USD)	対純資産比率 (%)
Equities			
Belgium - 3.28% (30 September 2021: 3.62%)			
Umicore SA	2,114,344	62,584,448	3.28
Brazil - 7.03% (30 September 2021: 5.39%)			
MercadoLibre Inc	137,476	113,907,802	5.96
NU Holdings Ltd Class A	4,636,144	20,422,214	1.07
Canada - 2.39% (30 September 2021: 3.43%)			
AbCellera Biologics Inc	2,652,731	26,248,774	1.37
Shopify Inc Class A	722,124	19,457,631	1.02
Denmark - 9.64% (30 September 2021: 7.64%)			
Chr Hansen Holding A/S	843,859	41,819,897	2.19
Novozymes A/S Class B	1,360,411	69,110,466	3.62
Orsted A/S	914,927	73,173,830	3.83
Germany - 2.85% (30 September 2021: 1.77%)			
Sartorius AG	155,116	54,396,815	2.85
India - 4.21% (30 September 2021: 3.12%)			
Housing Development Finance Corp Ltd	2,860,561	80,377,017	4.21
Indonesia - 4.61% (30 September 2021: 2.34%)			
Bank Rakyat Indonesia Persero Tbk PT	298,306,705	88,057,044	4.61
Japan - 2.29% (30 September 2021: 3.26%)			
M3 Inc	1,559,100	43,727,427	2.29
Kenya - 0.67% (30 September 2021: 0.71%)			
Safaricom PLC	62,236,100	12,820,894	0.67
Netherlands - 6.62% (30 September 2021: 7.92%)			
ASML Holding NV	296,079	126,420,887	6.62
South Africa - 2.14% (30 September 2021: 1.82%)			
Discovery Ltd	6,973,937	40,890,529	2.14
Sweden - 2.54% (30 September 2021: 3.40%)			
Nibe Industrier AB Class B	5,380,248	48,616,115	2.54
Taiwan - 6.37% (30 September 2021: 6.25%)			
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd	9,145,000	121,625,130	6.37
United Kingdom - 0.60% (30 September 2021: 0.82%)			
FDM Group Holdings PLC	1,640,707	11,519,758	0.60
United States - 43.56% (30 September 2021: 45.30%)			
10X Genomics Inc Class A	796,292	22,686,359	1.19
ABIOMED Inc	236,038	58,034,663	3.04
Anylam Pharmaceuticals Inc	465,620	93,144,953	4.88
Berkeley Lights Inc	625,567	1,792,249	0.10
Coursera Inc	1,824,190	19,692,131	1.03
Deere & Co	351,888	117,659,031	6.16
Dexcom Inc	1,292,835	104,163,716	5.45
Duolingo Inc Class A	367,162	34,994,210	1.83
Ecolab Inc	302,050	43,655,286	2.29
Illumina Inc	336,531	64,179,827	3.36
Moderna Inc	801,626	94,844,380	4.97
Peloton Interactive Inc Class A	533,223	3,697,902	0.19
Teladoc Health Inc	746,339	18,945,816	0.99
Tesla Inc	316,143	83,872,738	4.39
Xylem Inc	806,408	70,532,476	3.69
Total Equities		1,887,072,415	98.80

	時価 (USD)	対純資産比率 (%)
Financial Equity Assets at Fair Value through Profit or Loss	1,887,072,415	98.80
Financial Equity Liabilities at Fair Value through Profit or Loss	-	-
Total Financial Assets at Fair Value through Profit or Loss	1,887,072,415	98.80
Total Financial Liabilities at Fair Value through Profit or Loss	-	-
Other Net Assets	22,853,637	1.20
Net Assets Attributable to Holders of Redeemable Participating Shares	1,909,926,052	100.00
Analysis of Total Assets (Unaudited)		Total Assets %
Transferable securities admitted to an official stock exchange listing	1,887,072,415	98.71
Transferable securities dealt in on another regulated market	-	0.00
Transferable securities other than those admitted to an official stock exchange listing or dealt in on another regulated market	-	0.00
Financial derivative instruments	-	0.00
Other assets	24,610,396	1.29
Total Assets	1,911,682,811	100.00

マネー・マーケット・マザーファンド

《第38期》決算日2023年11月20日

[計算期間：2023年5月23日～2023年11月20日]

「マネー・マーケット・マザーファンド」は、11月20日に第38期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第38期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率	債組入比率	債券先物比率	純資産額
34期(2021年11月22日)	円 10,182	% 0.0	% —	% —	百万円 1,637
35期(2022年5月20日)	10,182	0.0	—	—	2,897
36期(2022年11月21日)	10,181	△0.0	—	—	2,660
37期(2023年5月22日)	10,181	0.0	—	—	2,921
38期(2023年11月20日)	10,181	0.0	—	—	3,393

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債組入比率	債券先物比率	債券率
(期首) 2023年5月22日	円 10,181	% —	% —	% —	% —
5月末	10,181	0.0	—	—	—
6月末	10,181	0.0	—	—	—
7月末	10,181	0.0	—	—	—
8月末	10,181	0.0	—	—	—
9月末	10,181	0.0	—	—	—
10月末	10,181	0.0	—	—	—
(期末) 2023年11月20日	10,181	0.0	—	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

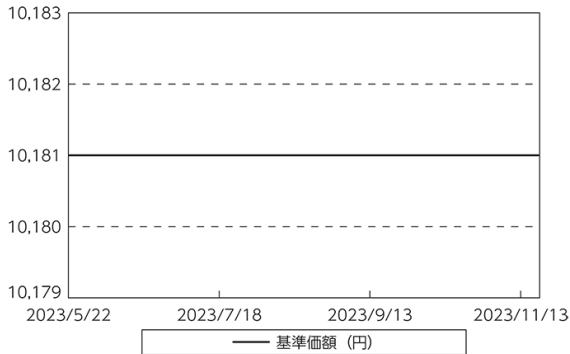
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ横ばいとなりました。

基準価額等の推移



●基準価額の変動要因

(上昇要因)

利子等収益が積み上がったことが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

運用資金に対するマイナス金利適用などが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎国内短期金融市場

- ・無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。
- ・当期間の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.013%となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

○今後の運用方針

- ・今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2023年5月23日～2023年11月20日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2023年5月23日～2023年11月20日)

その他有価証券

		買付額	売付額
国内	コマーシャル・ペーパー	千円 322,399,871	千円 321,899,877

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2023年5月23日～2023年11月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年11月20日現在)

国内その他有価証券

区 分	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 2,799,997	% 82.5

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

○投資信託財産の構成

(2023年11月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
その他有価証券	千円 2,799,997	% 82.5
コール・ローン等、その他	593,717	17.5
投資信託財産総額	3,393,714	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年11月20日現在)

項目	当期末
(A) 資産	3,393,714,808
コール・ローン等	593,717,773
その他有価証券(評価額)	2,799,997,035
(B) 負債	261
未払解約金	43
未払利息	218
(C) 純資産総額(A-B)	3,393,714,547
元本	3,333,531,344
次期繰越損益金	60,183,203
(D) 受益権総口数	3,333,531,344口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,181円

<注記事項>

- ①期首元本額 2,870,024,150円
期中追加設定元本額 644,599,674円
期中一部解約元本額 181,092,480円
また、1口当たり純資産額は、期末1.0181円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2030(確定拠出年金)	2,228,013,587円
三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド	568,143,019円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2035(確定拠出年金)	110,083,425円
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2030	76,382,303円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンドA>	61,991,356円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンド>	38,044,882円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	24,765,135円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム>(毎月分配型)	18,468,833円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース>(毎月分配型)	13,122,469円
ピムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	13,053,165円
ピムコ・グローバル・ハイイールド・ファンド(毎月分配型)	11,784,347円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	10,743,284円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	9,893,887円
マネープールファンド(FOF用)(適格機関投資家限定)	9,871,149円
ピムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし>(年2回決算型)	9,376,245円
三菱UFJ ターゲット・イヤーファンド 2030	7,690,306円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)	7,489,236円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	7,196,270円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド(毎月分配型)	6,895,341円
ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Aコース(為替ヘッジなし)	6,887,212円
ピムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり>(年2回決算型)	6,675,966円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし>(毎月分配型)	5,812,610円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>(毎月分配型)	5,548,198円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム>(毎月分配型)	5,541,524円
ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Bコース(為替ヘッジあり)	5,484,593円
三菱UFJ/ピムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	5,411,821円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース>(毎月分配型)	4,489,124円
欧州ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)	4,289,171円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	3,857,128円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム>(年2回分配型)	3,319,056円

○損益の状況 (2023年5月23日~2023年11月20日)

項目	当期
(A) 配当等収益	△ 162,931
受取利息	10,911
支払利息	△ 173,842
(B) 当期損益金(A)	△ 162,931
(C) 前期繰越損益金	51,956,485
(D) 追加信託差損益金	11,667,215
(E) 解約差損益金	△ 3,277,566
(F) 計(B+C+D+E)	60,183,203
次期繰越損益金(F)	60,183,203

(注) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり> (毎月決算型)	2,966,566円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (毎月分配型)	2,724,520円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (年2回分配型)	2,711,846円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	2,590,474円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	2,527,335円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)	2,515,903円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	2,210,674円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	2,119,621円
三菱UFJ /ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	2,065,331円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	2,007,890円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (毎月分配型)	1,628,892円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	1,616,484円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	1,491,640円
三菱UFJ /ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (毎月決算型)	1,412,860円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	1,339,040円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	1,149,232円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	1,145,161円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	1,074,934円
三菱UFJ /ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (年1回決算型)	1,020,693円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (毎月分配型)	907,086円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<インドネシアルピアコース> (毎月分配型)	669,935円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	665,580円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	629,892円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Cコース (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	521,457円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース> (毎月分配型)	416,840円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース> (毎月分配型)	282,290円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (年2回分配型)	278,281円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Dコース (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	217,015円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	212,322円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	169,198円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (資産成長型)	138,420円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)	111,354円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	98,223円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	98,222円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	98,222円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<米ドル投資型> (3ヵ月決算型)	98,222円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)	98,222円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	98,222円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	98,222円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	98,222円
三菱UFJ /マッコーリー オーストラリアREITファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	97,104円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<中国元コース> (毎月分配型)	89,620円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (資産成長型)	89,287円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	87,384円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	74,308円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (年2回分配型)	60,179円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (年2回分配型)	50,114円
テンブルトン新興国小型株ファンド	49,097円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	44,142円
三菱UFJ インド債券オープン (毎月決算型)	39,351円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド (年2回分配型)	30,651円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	20,635円
バリュール・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	9,829円
バリュール・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,829円

バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	9,822円
ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド (予想分配金提示型)	9,822円
<DC>ベイリー・ギフォード ESG世界株ファンド	9,822円
ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド (予想分配金提示型)	9,822円
<DC>ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	9,821円
ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド	9,821円
ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	9,821円
マクロ・トータル・リターン・ファンド	9,820円
わたしの未来設計<成長重視型> (分配抑制コース)	9,820円
わたしの未来設計<安定重視型> (分配抑制コース)	9,820円
わたしの未来設計<安定重視型> (分配コース)	9,820円
わたしの未来設計<成長重視型> (分配コース)	9,820円
グローバル・インカム・フルコース (為替ヘッジなし)	983円
グローバル・インカム・フルコース (為替リスク軽減型)	983円
米国株式トレンド・ウォッチ戦略ファンド	983円
合計	3,333,531,344円

[お 知 ら せ]

- ①新NISA (成長投資枠) の要件対応のため、デリバティブ取引にかかる投資制限について記載整備を行い、信託約款に所要の変更を行いました。
(2023年7月3日)
- ②委託会社の商号変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。
2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更しました。
(2023年10月1日)